

I 調査方法の概要

1 調査目的

相双地域では、子どもたちの肥満やう蝕が増加傾向にあり、その要因として食環境が関連していると考えられていることから、幼児期の食環境について、保護者の生活状況も含めて実態把握をし、関係機関が連携して対策を構築できる基礎資料を得ることを目的とする。

2 調査対象

- ・相双地域（双葉町、浪江町を除く10市町村、p52の地図参照。）で開設している保育所、幼稚園及び認定こども園（東京電力福島第一原子力発電所事故のため、避難先で再開している公立の施設を含む。）で事前に同意が得られた37施設
- ・上記施設に通園している3歳以上の子ども（平成28年2月1日現在）

3 調査時期

平成28年2月

4 調査様式及び内容

調査票は、子どもの食を考える相双地域ネットワーク会議ワーキング部会で決定し、p54～69のとおり、施設用と保護者用の2種類とした。

施設用：施設の状況、保健業務（身体測定、歯科検診）の状況、食育の取組状況、運動や外遊びの状況、おやつの提供状況

保護者用：世帯構成、子どもの状況（生活習慣、健康状態、運動状況、食習慣）保護者自身の状況（健康状態、精神健康度(GHQ-12))、子育てに関すること

5 調査方法

施設用：公立保育所、幼稚園及び認定こども園は各市町村担当課を通じ、私立保育所・幼稚園は直接配付・回収した。

保護者用：保育所、幼稚園及び認定こども園を通じ、調査票を対象者に配付・回収した。

6 集計対象

施設用：回答があった34施設を集計対象とした。（次ページの回答施設の概要を参照。）

保護者用：調査協力が得られた3歳以上の子どもは、1,790名であり、このうち、回答に不備があったものを除き、1,548名を集計対象とした。（次ページの回答者の概要を参照。）

7 集計及び統計方法

各質問紙のデータを機械的に読み込み、自動（OCR）でエクセルスプレッドシート用データに変換した。

その後、人的作業によりデータを原票と照合し、分析は、SPSSを用いて、 χ^2 検定、t検定で行った。

○ 回答施設の概要

・配布・回収数

	市町村名	配布数(回収数)			回収率
		保育所	幼稚園	こども園	
現地で開所	相馬市	4(2)	9(9)	-	91.7%
	南相馬市	6(6)	7(7)	-	100.0%
	広野町	-	1(1)	-	100.0%
	川内村	-	-	1(1)	100.0%
	新地町	3(3)	-	-	100.0%
避難先で開所	檜葉町	-	-	1(1)	100.0%
	富岡町	1(1)	1(0)	-	50.0%
	大熊町	-	1(1)	-	100.0%
	葛尾村	-	1(1)	-	100.0%
	飯館村	-	1(1)	-	100.0%
	全体	14(12)	21(20)	2(2)	91.9%
		37(34)			

○ 回答者の概要

・配布・回収数

市町村名	配布数	回収数	有効回答数 (有効回答率)
相馬市	923	773	672 (86.9%)
南相馬市	781	709	622 (87.7%)
広野町	48	46	41 (89.1%)
檜葉町	25	22	19 (86.4%)
富岡町	22	17	13 (76.5%)
川内村	18	15	14 (93.3%)
大熊町	12	11	6 (54.5%)
葛尾村	11	11	8 (72.7%)
新地町	179	156	127 (81.4%)
飯館村	47	30	26 (86.7%)
全体	2066	1790	1548 (86.5%)

・基本情報

<年齢別>

年齢	集計対象者数		
	男子	女子	総数
3歳	57	58	115
4歳	216	216	432
5歳	291	247	538
6歳	234	229	463
総数	798	750	1,548

<居住別>

居住場所	世帯数	割合
一軒家(持ち家)	1,021	66.0%
一軒家(賃貸)	111	7.2%
マンション・アパート(持ち家)	7	0.5%
マンション・アパート(賃貸)	295	19.1%
仮設住宅	59	3.8%
親戚(もしくは知人)宅	11	0.7%
その他	39	2.5%
不詳	5	0.3%
総数	1,548	100.0%

<世帯状況別>

家族構成	世帯数	割合
核家族	945	61.0%
内 父(もしくは母)のみ	70	7.4%
3世代家族	594	38.4%
内 父(もしくは母)のみ	91	15.3%
祖父母(両親なし)	9	0.6%
総数	1,548	100.0%